

浴風会病院認知症疾患医療センター
医療相談・支援室 PSW 高橋智哉

医療福祉情報コーナーの整備について(案)

【背景】

認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)では、認知症の人が住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けるために必要としていることに的確に応えていくことを旨とした施策を総合的に推進している。その一つに、認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有しお互いを理解し合う「認知症カフェ」等の設置を推進している。

また、近年病院機能の在り方として、認知症の方やその家族のみならず、地域住民や関係機関の方々が、社会資源の閲覧や公開講座等の情報閲覧が可能となるようなスペースを院内に設置することが求められている。今後、入院生活や在宅生活を安心して過ごせるための整備が機能的に必要となってきた。

【患者情報コーナー整備案】

病院受診時の待合室で形作られる、家族同士の交流を活用し、その場で同時に情報が得られるような「医療福祉情報コーナー」を設置し、患者・家族が主体となった情報収集の場を実現。

- ①診断後の本人・家族の不安に、早期的な情報提供が可能に
- ②認知症疾患医療センターのメンバーのみならず、地域の家族会や認知症カフェの担当者に常駐してもらうことで、認知症の人やその家族への直接的な介入も実現
- ③地域の様々なサービスとのつながりの場の提供

【設置場所】

・外来処置室前(別紙イメージ参照)

【予算】

・平成 28 年度認知症疾患医療センター予算内
・別紙見積もり書参照

【スケジュール】

・平成 29 年 3 月～医療福祉情報コーナーの整備
・平成 29 年 4 月～運営開始